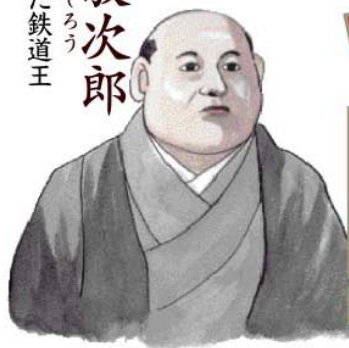


鋼島高明 [監修]
岩田廉太郎 [作画]

雨宮敬次郎
あめみやけいじろう
相場で稼いだ鉄道王
怪傑・雨敬



佐藤和二郎
さとうわさぶろう
『大番』のモデルになった人気者
買いのブーちゃん



マンガ 日本 相場師列伝



是川銀蔵

これかわぎんぞう
株で長者番付第一位！
最後の“相場師”是銀

田中平八

たなかへいはち
生糸・為替相場で大儲け！
天下の糸平



伝説の相場師の 生き様に学べ！

第1章

是川銀蔵

(これかわぎんぞう)



◎明治30(1897)年、兵庫県赤穂市で漁師の子として生まれる。高等小学校を卒業後、貿易商好本商店の丁稚となるが、大正3(1914)年に倒産。中国青島で日本軍司令部の御用商人となる。

◎大正12年の関東大震災では、復興需要を見越してバラック建築用トタン板を買いまくって巨利を博した。この時、儲けの半分を大阪市に寄付。

◎昭和8(1933)年、大阪堂島で「昭和経済研究所」を設立、相場の研究・指導に当たる。同13年、朝鮮に渡り、是川鉱業を設立、従業員1万人の大企業のトップに立つ。

◎昭和19年、小磯内閣の成立に際し、入閣要請を受けたが断る。同35年、相場業を再開する一方、土地投機にも乗り出し、大阪府泉北ニュータウンで3億円を手中に収める。

◎同51年日本セメント株買い占め、同54年同和鉱業株買い占め、同56~57年住友金属鉱山株の大量買いに成功、同58年の高額所得者番付トップとなる。平成4(1992)年没。享年95歳。

目次

第1章

最後の“相場師”是銀……………是川銀蔵 1

第2章

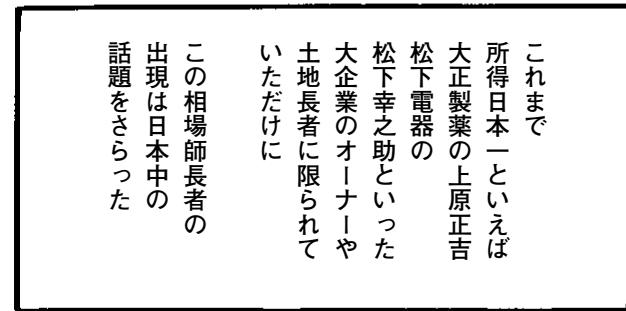
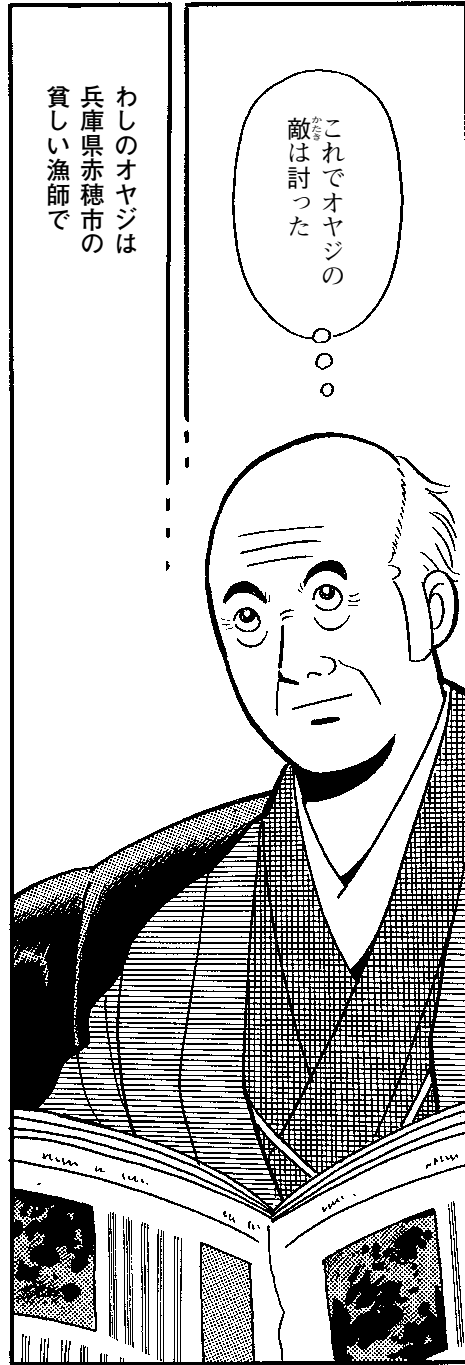
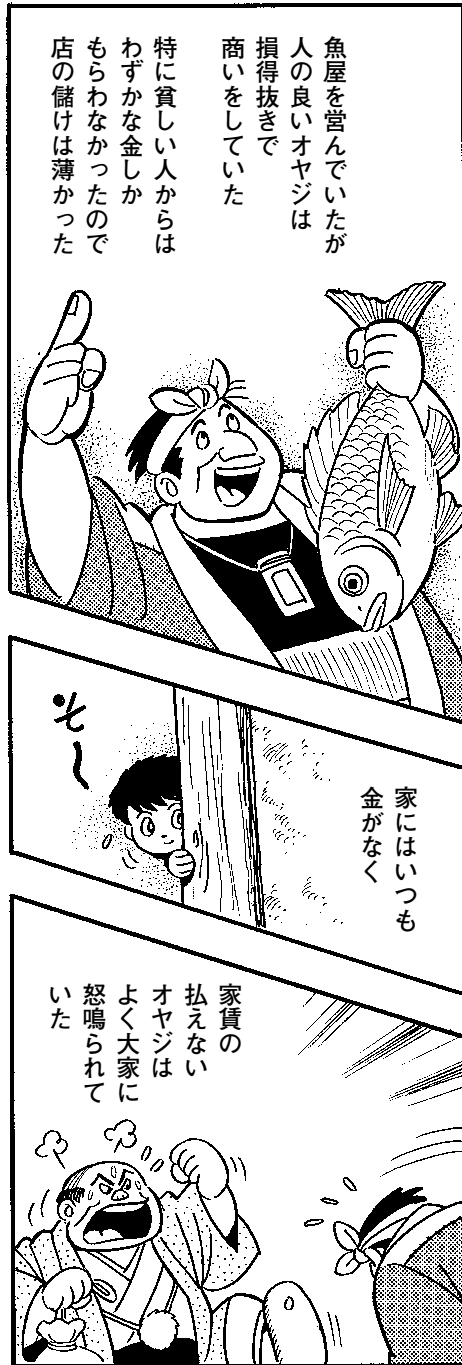
天下の糸平……………田中平八 67

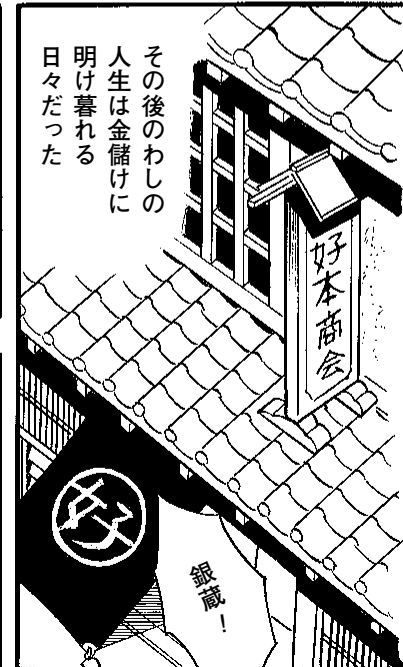
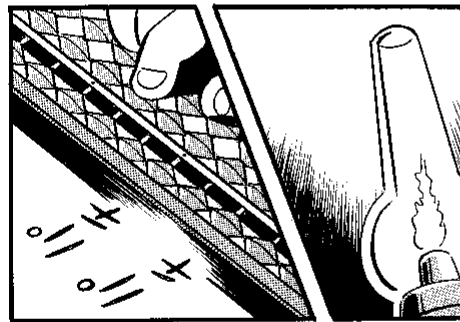
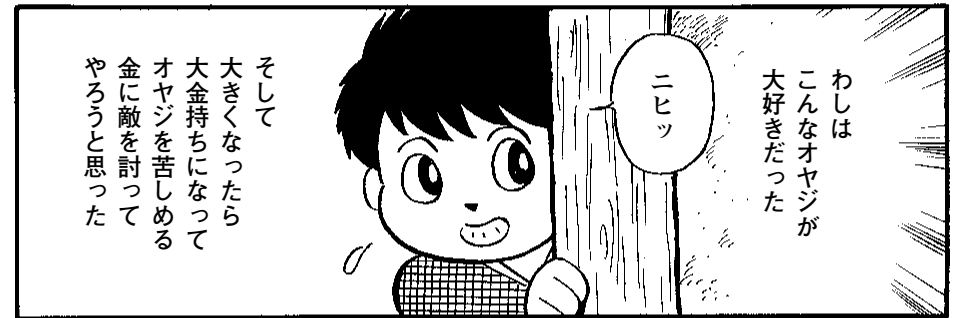
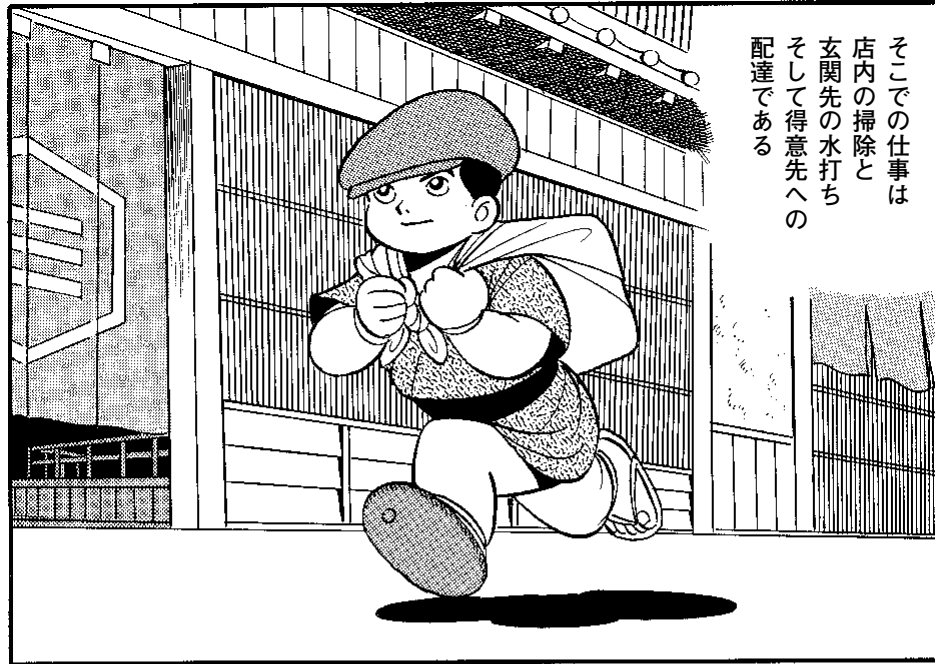
第3章

買いのブーちゃん……………佐藤和三郎 173

第4章

怪傑・雨敬……………雨宮敬次郎 211







おいらきつと
商売の世界で
天下を取って
やるんだ！



…なんも
おいらには
デツカイ夢が
あるのや



ソロバン・
簿記・会計…
毎晩ようやるな

眠くは
ないのかい



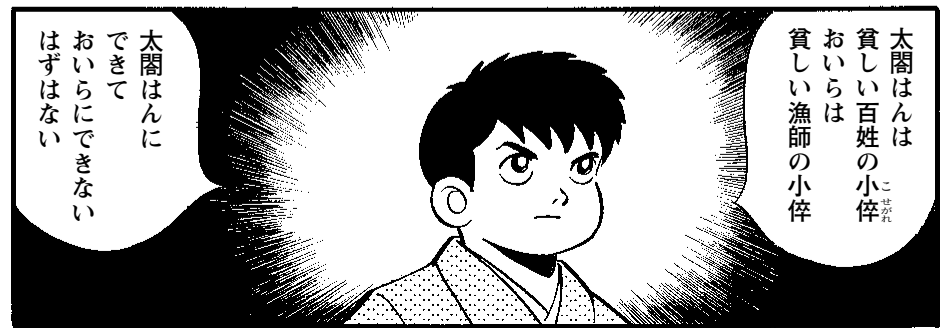
…何や
デツカイ
夢って？



ああ
知つとるぞ
貧しい農民から
身を起こして
ついには天下を
取つたんだろ

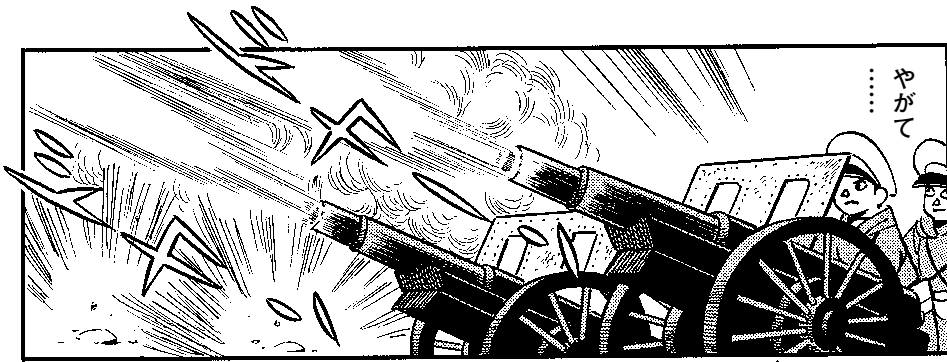


五平どん
大閼はんの
話は知つとる
やろ…

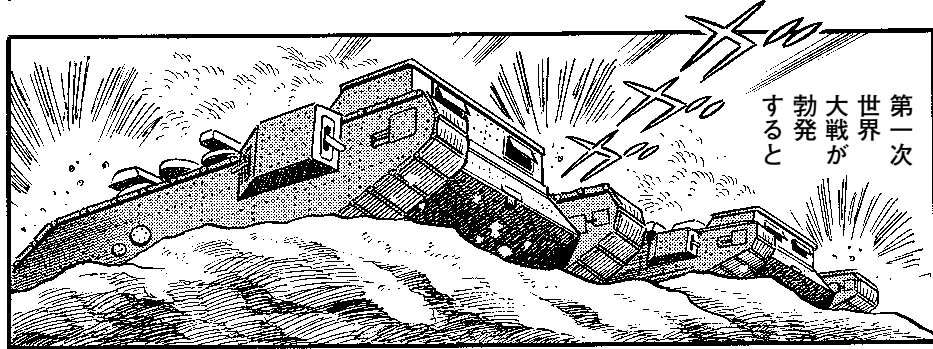


大閼はんは
貧しい百姓の小倅
おいらは
貧しい漁師の小倅

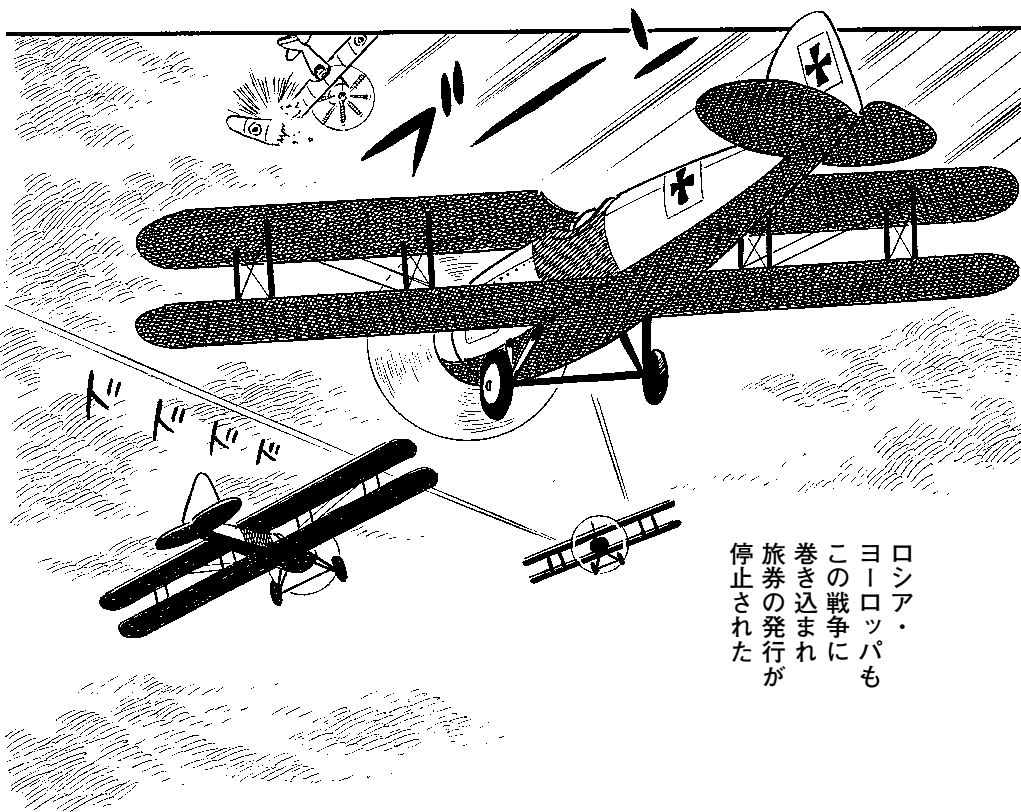
大閼はんは
できて
おいらにできない
はずはない



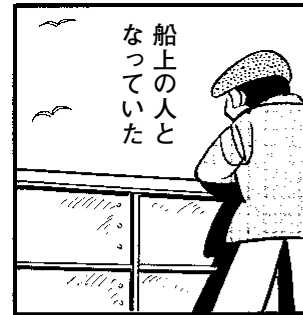
やがて



第一次
世界
大戦が
勃発
すると



ロシア・
ヨーロッパも
この戦争に
巻き込まれ
旅券の発行が
停止された



船上の人と
なっていた



銀蔵は
退職金
三〇円を
持って



三年後
好本商会は
倒産した

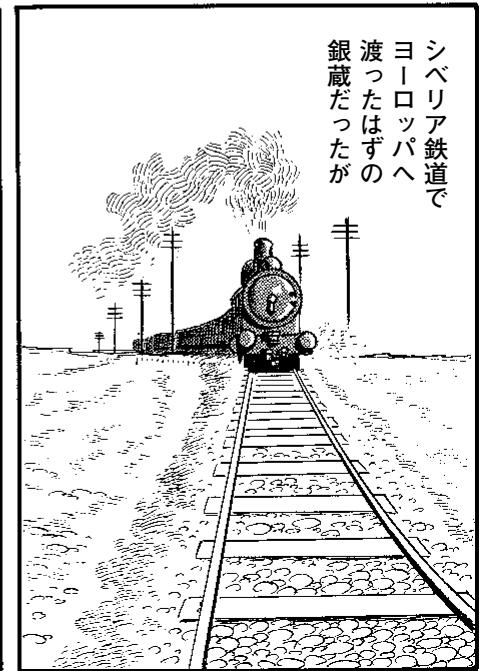


なんといつても
世界貿易の拠点
はロンドンや
満州經由の
シベリア鉄道で
ヨーロッパへ渡り
ロンドンへ
行くんや

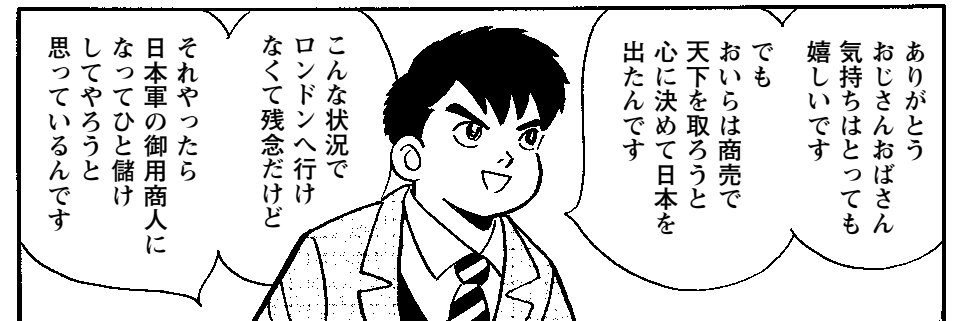
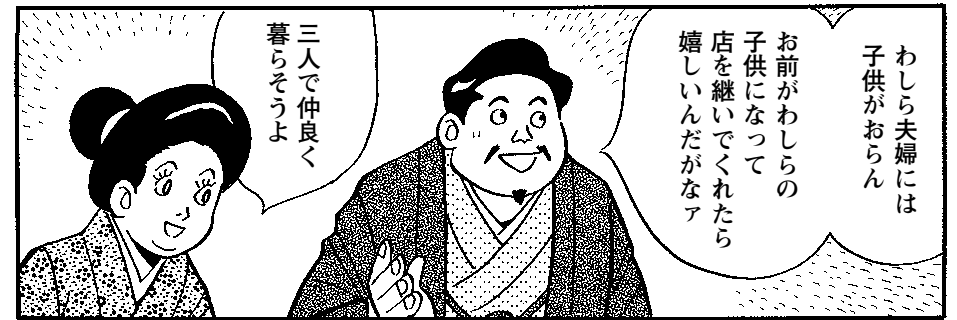
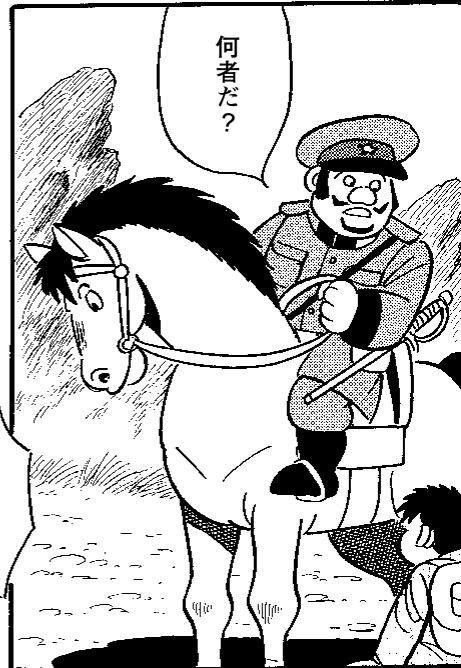
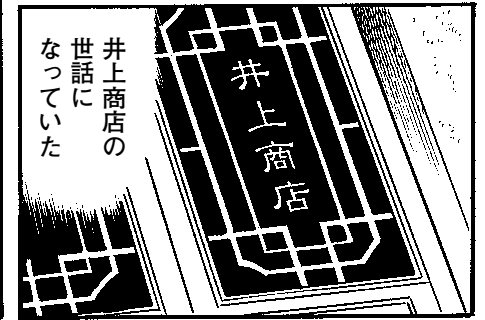
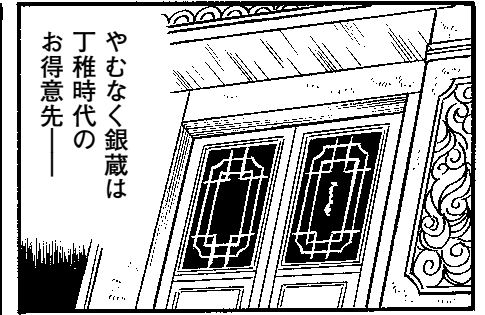
銀蔵
十六歳の
時であった

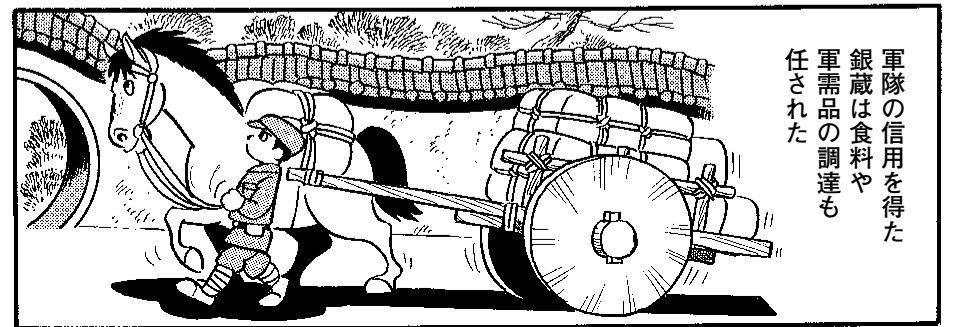
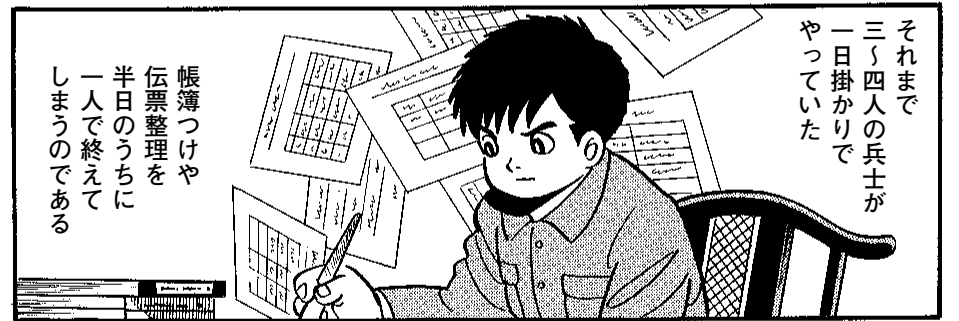
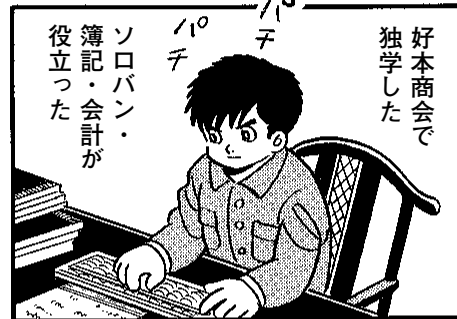
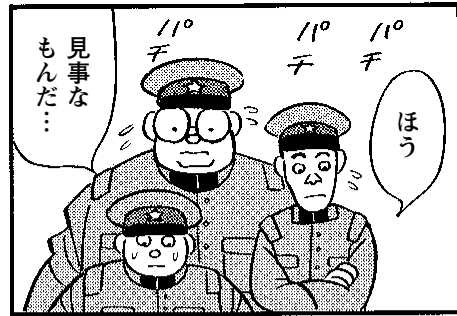


旅費の不足で
途中の大連に
とどまっていた



シベリア鉄道で
ヨーロッパへ
渡ったはずの
銀蔵だったが





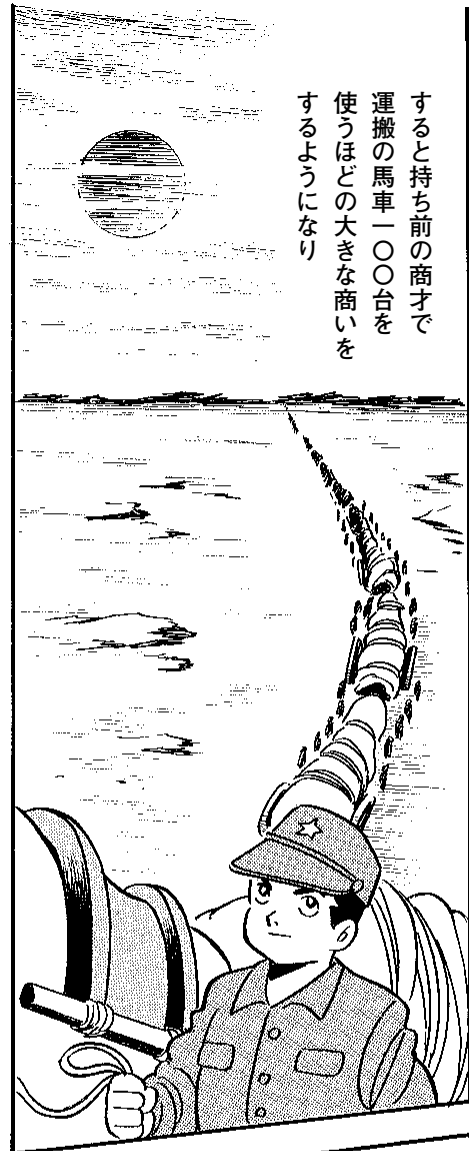
…だが
間もなく銀蔵は
日本軍から正式に
現地雇いされた

ほう
見事なものだ…

好本商会で
独学した
ソロバン・
簿記・会計が
役立った

それまで
三〜四人の兵士が
一日掛かりで
やっていた

軍隊の信用を得た
銀蔵は食料や
軍需品の調達も
任された



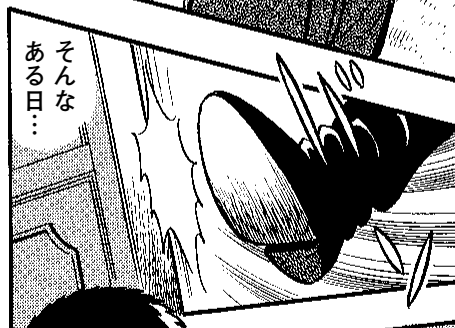
すると持ち前の商才で
運搬の馬車一〇〇台を
使うほどの大きな商いを
するようになり



小山銀蔵！
貴様を
連行する！



「小山洋行」を
設立すると
日本と中国の間で
貿易を行い
青年実業家の道を
歩んでいった



そんな
ある日…

